

## 就労継続支援A型に係る基本報酬の算定区分に関する届出書

事業所名	エコミラ江東	
人員配置区分	① 1型(7.5:1)    2. II型(10:1)	
定員区分	1 21人以上40人以下 2 41人以上60人以下 3 61人以上80人以下 4 81人以上 ⑤ 20人以下	
評価点区分	1 評価点が170点以上 ② 評価点が150点以上170点未満 3 評価点が130点以上150点未満 4 評価点が105点以上130点未満 5 評価点が80点以上105点未満 6 評価点が60点以上80点未満 7 評価点が60点未満 8 なし(経過措置対象)	
評価点の公表	インターネット利用	(公表場所) 特定非営利活動法人地球船クラブホームページにて記載 (URL) <a href="https://www.chikyuusen.org/ekomira/">https://www.chikyuusen.org/ekomira/</a>
	その他	

注1 厚生労働大臣が定める事項及び評価方法（令和3年厚生労働省告示第88号）に基づき評価点を算出すること。

なお、別添「就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）」も併せて提出すること。

注2 評価点区分「なし（経過措置対象）」は、指定を受けてから1年度間を経過していない事業所が選択する。

注3 評価点の公表については、インターネットを利用した公表方法の場合は、公表場所と当該公表場所のURL等を、その他の方法による場合は、その公表方法を記載すること。

なお、公表していない場合は、減算となるので留意すること。

## 就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	エコミラ江東
住所	東京都江東区潮見1-29-7
電話番号	03-5632-8815

事業所番号	1310801632
管理者名	鳥海 武
対象年度	令和2年度

(Ⅰ) 労働時間	選択年度	②令和元年度	
①1日の平均労働時間が7時間以上			55 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満			
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満			
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満			
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満			
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満			
⑧1日の平均労働時間が2時間未満			

①80点 ②70点 ③55点 ④45点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動	選択年度	②令和元年度及び平成30年度	
①前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		○	40 点
②前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上			
③前年度及び前々年度における生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが利用者に支払う賞金の総額以上			
④前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上			

①40点 ②25点 ③20点 ④5点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）			
◎	①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎	②利用者を職員として登用する制度		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎	③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎	④フレックスタイム制に係る労働条件		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	⑤短時間勤務に係る労働条件		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
◎	⑥時差出勤制度に係る労働条件		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	⑧傷病休暇等の取得に関する事項		○
	就業規則等で定めている		
	就業規則等で定めており、前年度の実績がある		
	小計（注1）		5 点

（※）任意の5項目を選択すること （注1）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅳ) 支援力向上（※）			
◎	①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		○
	参加した職員が1人以上半数未満であった		
	参加した職員が半数以上であった		
◎	②研修、学会等又は学会誌等において発表		○
	1回の場合		
	2回以上の場合		
◎	③視察・実習の実施又は受け入れ		○
	いずれか一方のみの取組を行っている		
	いずれの取組も行っている		
◎	④販路拡大の商談会等への参加		○
	1回の場合		
	2回以上の場合		
	⑤職員の人事評価制度		35 点
	人事評価結果に基づき定期昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している		
	⑥ピアサポーターの配置		○
	ピアサポーターを職員として配置している		
◎	⑦第三者評価		○
	過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
	⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		○
	都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
	小計（注2）		8 点

（※）任意の5項目を選択すること （注2）8以上:35点、6~7:25点、1~5:15点

(Ⅴ) 地域連携活動			
	地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している		○ 10 点
			1事例以上ある場合:10点

項目	点数								
労働時間	5点	20点	30点	40点	45点	55点	70点	80点	55
生産活動	5点		20点	25点		40点			40
多様な働き方	0点		15点	25点		35点			15
支援力向上	0点		15点	25点		35点			35
地域連携活動	0点			10点					10

合計	
155	点 / 200点

注1 「1日の平均労働時間」は、①平成30年度、②令和元年度、③令和2年度のいずれかの実績で算出すること。

注2 「生産活動収支の状況」の前年度及び前々年度の実績は、①「令和2年度及び令和元年度」又は②「令和元年度及び平成30年度」のいずれかの期間の実績を算出すること。

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績 I～IV）

(I) 労働時間

前年度（令和元年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	14,064	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	2,811	人	利用者の1日の平均労働時間数	5	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(II) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々年度（平成30年度）

生産活動収入から経費を除いた額	15,941,895	円	利用者に支払った賃金総額	15,917,453	円	収支	24,442	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前年度（令和元年度）

生産活動収入から経費を除いた額	14,045,232	円	利用者に支払った賃金総額	14,045,232	円	収支	0	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---	---

(III) 多様な働き方

前年度（●年度）における実績（全体表「(III)多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めており、前年度の実績がある」と選択した場合に実績を記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を活用した人数	●名
取得を進めた免許等	○○○
制度の活用内容	○○○
	○○○

②利用者を職員として登用する制度

②職員として登用した人数	●名
うち1名は雇用継続期間が6月に達している	
うち1名は前年度末日まで雇用継続している	
登用した日	●年 ●月 ●日
勤務形態	○○○
就業時間	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

③在宅勤務を行った人数	●名
実施した期間	●月●日～●月●日
就業時間（在宅勤務）	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

④フレックスタイム制に係る労働条件

④フレックスタイム制を活用した人数	●名
実施した期間	●月●日～●月●日
就業時間（コアタイム）	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

⑤短時間勤務に係る労働条件

⑤短時間勤務に従事した人数	●名
実施した期間	●月●日～●月●日
就業時間（短時間）	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

⑥時差出勤制度に係る労働条件

⑥時差出勤制度を活用した人数	●名
実施した期間	●月●日～●月●日
就業時間（早出の場合）	●時●分～●時●分
就業時間（遅出の場合）	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦時間単位取得を活用した人数	●名
計画的付与制度を活用した人数	●名
取得した制度	有給休暇の時間単位取得
取得した期間	●月●日～●月●日
取得日数・時間	●日 ●時間

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

⑧傷病休暇等を取得した人数	●名
取得した内容	○○○
取得した期間	●月●日～●月●日
就業時間	●時●分～●時●分
職務内容	○○○

(※)当該制度等を活用した任意の1名の実績を記載

(IV) 支援力向上

前年度（令和2年度）における実績（全体表「(IV)支援力向上」の各項目の取組ありとした場合に実績を記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

①研修計画を策定している	
研修実施回数	外部 ●回/内部 1回
対象職員数	3人
うち研修受講者数	3人
研修名	企業が求める品質管理等
研修講師	㈱ヨコタ東北横田社長
実施日・受講者数	9月15日 3人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

②研修、学会等又は学会誌等において発表している回数	1回
研修、学会等名	知的障害者の雇用と特性
実施日	10月9日
学会誌等名	○○○
掲載日	●月●日
発表テーマ	エコミラ江東の挑戦

③視察・実習の実施又は受け入れ

③先進的事業者の視察・実習の実施している	
他の事業所の視察・実習を受け入れている	
先進的事業者名	○○○
実施日/参加者数	●月●日 ●人
他の事業所名	のびのび福祉会
実施日/参加者数	3月12日 4人

④販路拡大の商談会等への参加

④販路拡大の商談会等への参加回数	2回
商談会等名	リサイクル製品紹介
主催者名	エコミラ江東
日時	3月5日
内容	ペレット等再生原料の説明等

⑤職員の人事評価制度

⑤職員の人事評価制度を整備している	
当該人事評価制度を周知している	
人事評価制度の制定日	●年●月●日
人事評価制度の対象職員数	●名
うち昇給・昇格を行った者	●名
当該人事評価制度の周知方法	○○○

⑥ピアサポーターの配置

⑥ピアサポーターを配置している	
当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	
配置期間	●月●日～●月●日
就業時間	
職務内容	○○○

⑦第三者評価

⑦前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	
評価を受けた日	令和元年10月29日
第三者評価機関	㈱日本生活介護

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧国際標準化規格が制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	
認証を受けた日	●月●日
規格等の内容	○○○

(※)実績のうち1事例を記載

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。必要に応じて行を増やす等、

## 就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	エコミラ江東
住 所	東京都江東区潮見 1 - 2 9 - 7
電話番号	0 3 - 5 6 3 2 - 8 8 1 5

事業所番号	1310801632
管理者名	鳥海 武
対象年度	令和 2 年度

## 地域連携活動の概要

<p>&lt;活動内容&gt;</p> <p><b>活動場所</b> エコミラ江東</p> <p>実施日程 : 2020年9月~2021年3月</p> <p><b>実施した生産活動</b> ハンドソープ用の再生ボトル容器の開発</p> <p><b>利用者数 等</b> 1 1 名</p>	<p>&lt;活動の様子&gt;</p>   <p>回収された様々な食品容器のうち白色トレイだけを選別。 ハンドソープ用ボトルとしての品質保持を担保</p>
<p>&lt;目的&gt; <small>地域連携活動のねらい地域にとってのメリット対象者にとってのメリット</small></p> <p>江東区では住民自ら食品用トレイなどを分別洗浄し、エコミラ江東で原料化しているが、それら意義を具体的に示すことができなかった。今回の取組みではハンドソープ用容器として再利用しているため、コロナ過で多くの人々が使用するという意味で意義があるとともに、成長事業としても大いに期待できる。</p>	 <p>江東区立小中学校及び公共施設に提供された製品</p>
<p>&lt;成果&gt;</p> <p><b>実施した結果</b> ハンドソープ用ボトルに活用できる製品に至った。</p> <p><b>得られた成果</b> 使用済み食品トレイ活用のボトルは日本初と思われる</p> <p><b>課題</b> 衛生面を考慮し、今後は洗浄機なども必要</p>	<p>市区町村で発生した使用済みプラスチックを再製品化し、同じ市区町村に戻す「自己循環」は世界的にも少なく、サーキュラーエコノミーの模範的取組みといえる。</p>

## 連携先の企業等の意見または評価

**連携した結果に対する意見または評価/今後の連携強化に向けた課題**

人口が密集する大都市圏において、エコミラ江東のように「環境・福祉・教育」で貢献できる施設は少なく、今後の社会に不可欠な「SDGsモデル施設」と感じてる。このことから、弊社はエコミラ江東と積極的に連携し、様々な循環事業に取り組むようになり、今回のボトル開発にも至っている。

結果として、使用済みの食品容器(材質:ポリスチレン)では国内初と思われるボトル容器の開発ができ、東京都からビジネスモデル事業としても採択されている。また、多くの企業から商品化依頼も増えている。このような価値ある取組みができていたのもエコミラ江東の継続的な活動があったからであり、弊社だけでは実施できていない。

以上から、今後もエコミラ江東とは連携し、多くの事業で協業していく予定だが、一点課題があるとすれば洗浄機設置の必要性となる。住民が洗浄しているとはいえリサイクル品に対しては衛生面でネガティブに捉えられがちのため、その辺をクリアできる方策を見出していきたい。

連携先企業名	株式会社市川環境エンジニアリング	担当者名	篠田達弘
--------	------------------	------	------